

## (2) 男女共同参画について

問 4 日常生活における次の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。各項目ごとにあてはまる番号を選んで○印をつけてください。

家事、育児、職場、社会通念・慣習・しきたりなどの日常生活における男女の地位の平等感について、全体の傾向や経年変化を確認した後、各項目において性別や年齢別などの詳細な検討を加えていく。

「育児」～「社会通念・慣習・しきたり」の 8 つの項目のうち、「平等」と答えた人が半数以上を占めるのは「学校園での教育」のみで 65.2%となっている。次いで、「平等」と答えた人が多い項目は、「地域活動」で 48.7%となっている。

それ以外の項目は「男性優遇感」が強く表れている。具体的には、その割合が多い順から、「政治」78.4%、「社会通念・慣習・しきたり」78.0%、「家事」73.8%、「育児」67.1%、「職場」60.7%、「介護」58.3%となっている。

前回調査においても、「平等」と答えた人が半数以上を占めた項目は、「学校教育」であり、教育分野における男女の地位を「平等」ととらえる人が多い傾向には変化はない。

「平等」と答えた人の割合が前回調査より増加した項目は、「家事」「職場」「学校園での教育」「地域活動」「政治」であり、増加率が最も高かったのは「地域活動」で 11.1 ポイントとなっている。ただし、「地域活動」は前回調査では「地域活動（自治会、PTA 活動など）」、今回調査では「地域活動（自治会、ボランティアなど）」と表現が異なっており、単純な比較ができない点には注意する必要がある。

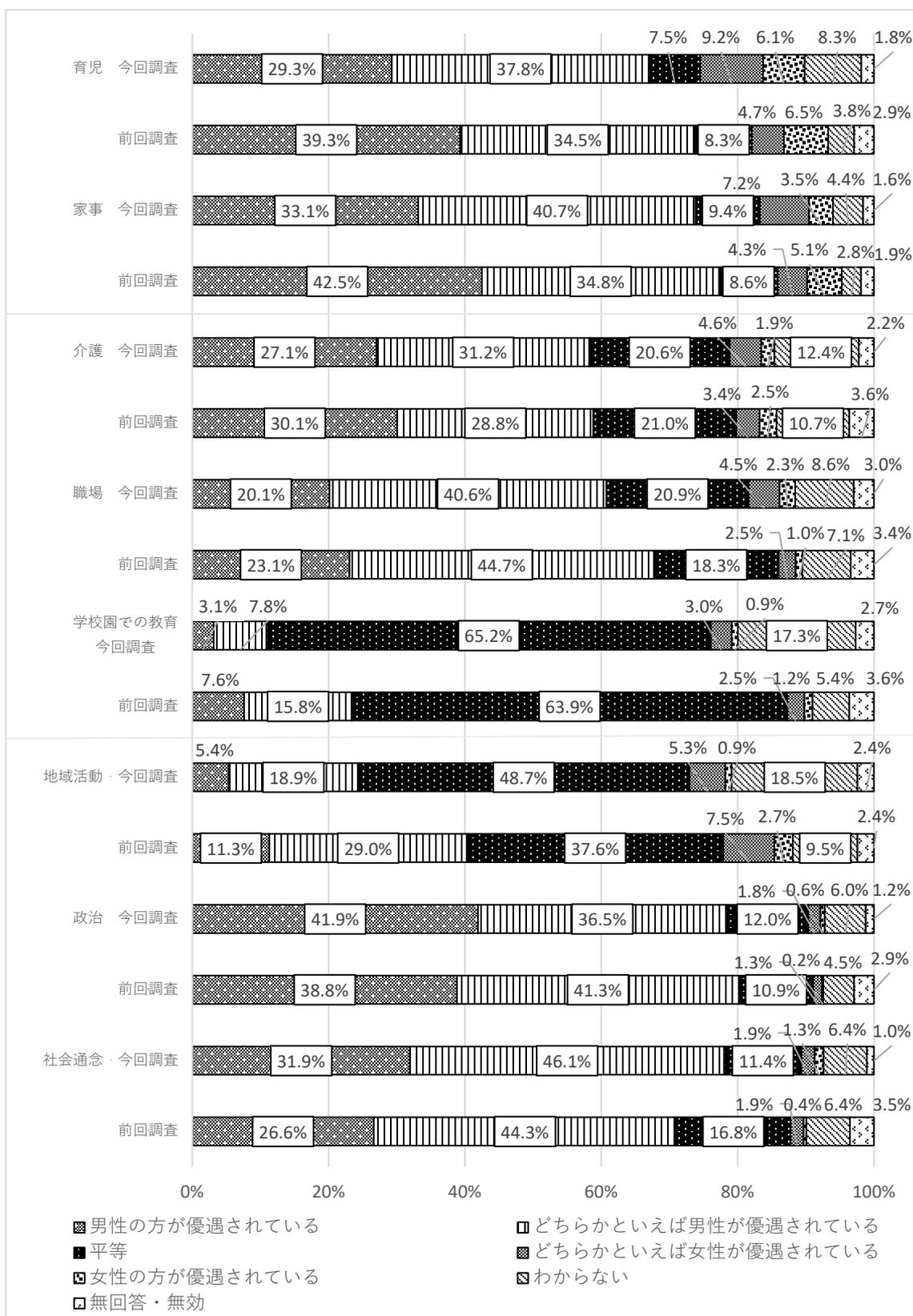
また、「政治」の「平等感」は前回調査よりも増加しているが、「男性の方が優遇されている」の割合も、前回調査に比べて増加している。

また、前回調査と今回調査では項目に違いがあるため、単純な比較はできないが、前回調査において「男性優遇感」が最も高かった項目は「政治」であり、今回調査でも同様の結果がみられている。

※「男性優遇感」＝「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性が優遇されている」

「女性優遇感」＝「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性が優遇されている」

図 5-1 各項目の男女の地位の平等感



前回調査との比較(今回調査 n=1,083, 前回調査 n=891)

育児

「育児」に関する男女の地位の平等感を性別にみると、「男性優遇感」は、女性で 71.0%、男性で 61.4%となっており、女性の方が 9.6 ポイント高い。

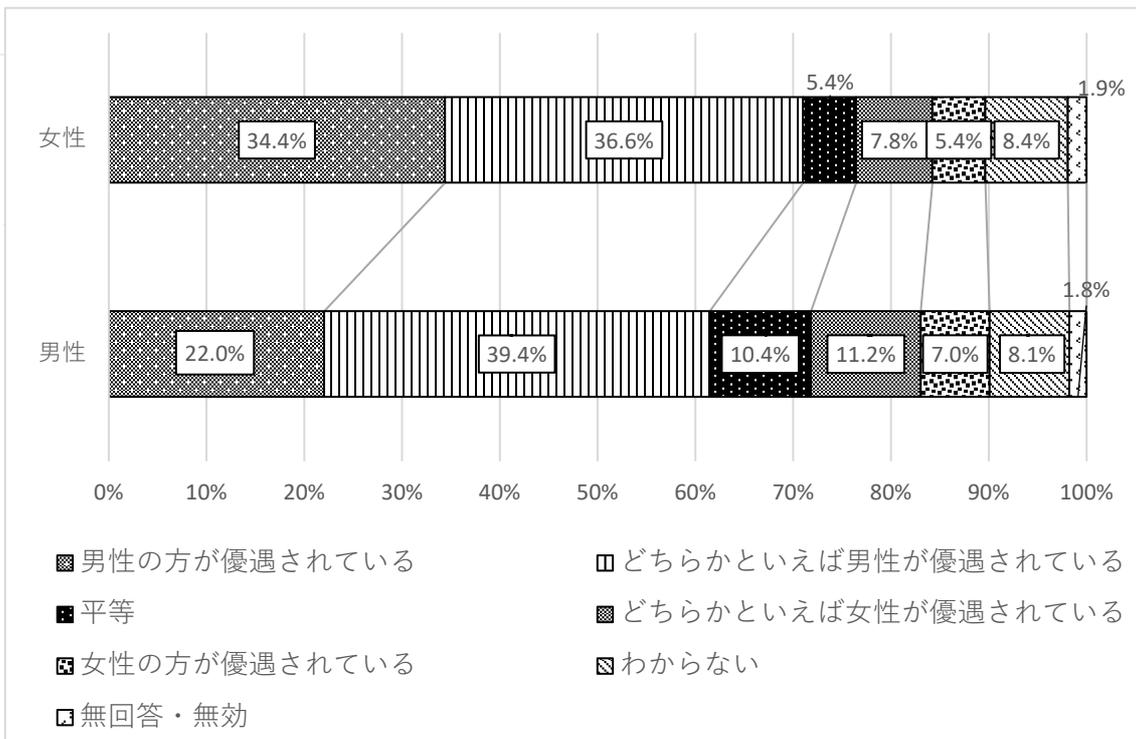
「平等感」は女性で 5.4%、男性で 10.4%となり、男性の方が 5.0 ポイント高い。

「女性優遇感」は、女性で 13.2%、男性で 18.2%となり、男性の方が 5.0 ポイント高い。

前回調査と比較をすると、「男性優遇感」は女性の方が、「平等感」は男性の方が高くなる傾向には変化がない。「女性優遇感」については、前回調査では男女差はなかったが、今回調査では男性の方が高い結果となっている。

図 5-2-1 【性別】「育児」の男女の地位の平等感

(性 n=628, 男性 n=45)

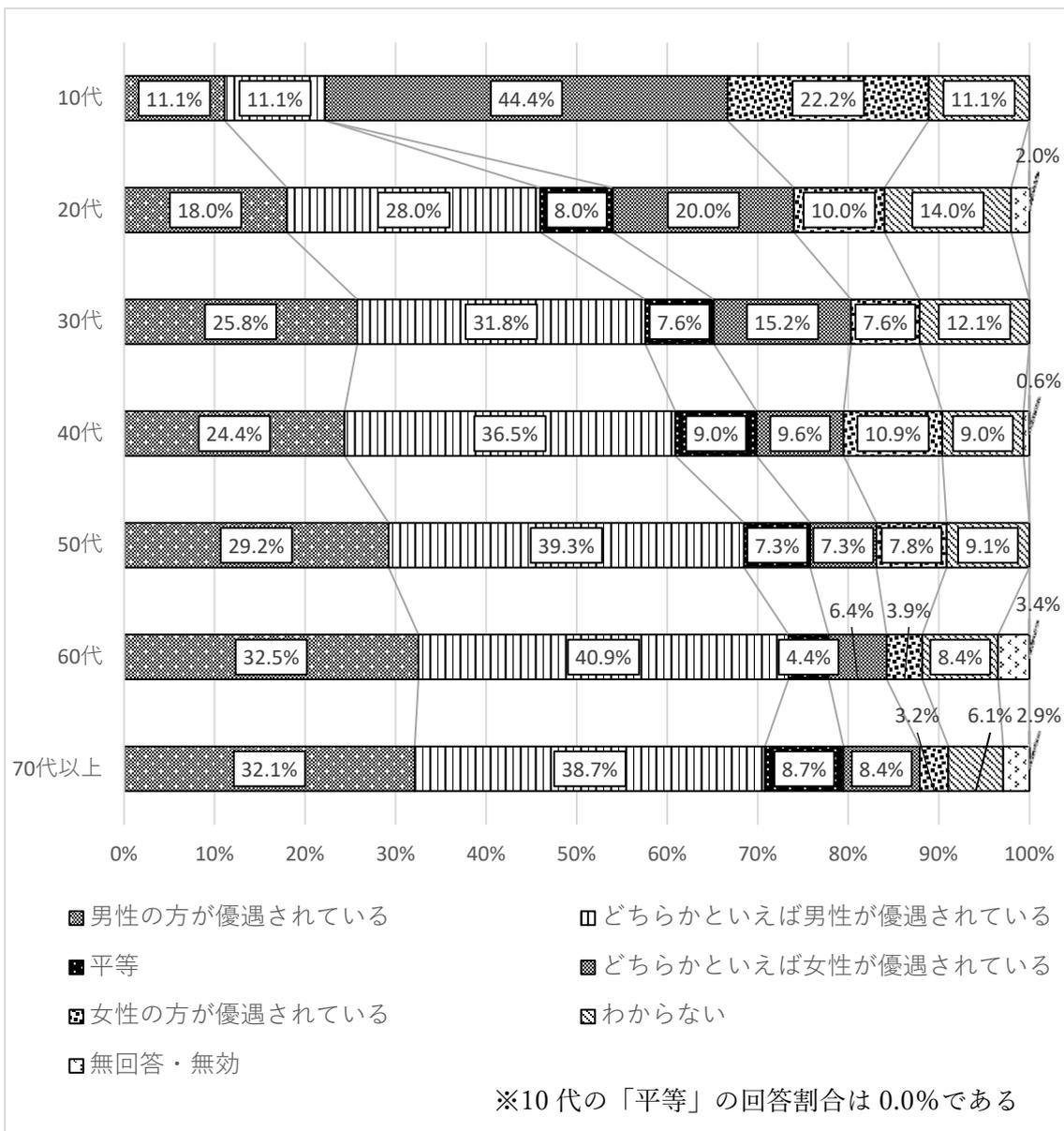


年齢別にみると、20 代以上の全ての年齢層で「女性優遇感」よりも「男性優遇感」の割合が高い。その差が特に大きかったのは、「60 代」で、「女性優遇感」10.3%、「男性優遇感」73.4%となり 63.1 ポイント差が開いている。

一方で「10 代」は「男性優遇感」よりも「女性優遇感」の割合が高く、それぞれ 22.2%、66.6% となり差は 44.4 ポイントとなっている。

前回調査では全ての年齢層で「男性優遇感」が「女性優遇感」を上回っていたが、今回調査では 10 代を除いた年齢層で「男性優遇感」が「女性優遇感」を上回る結果となっている。

図 5-2-2 【年齢別】「育児」の男女の地位の平等感  
 (10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
 50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



## 家事

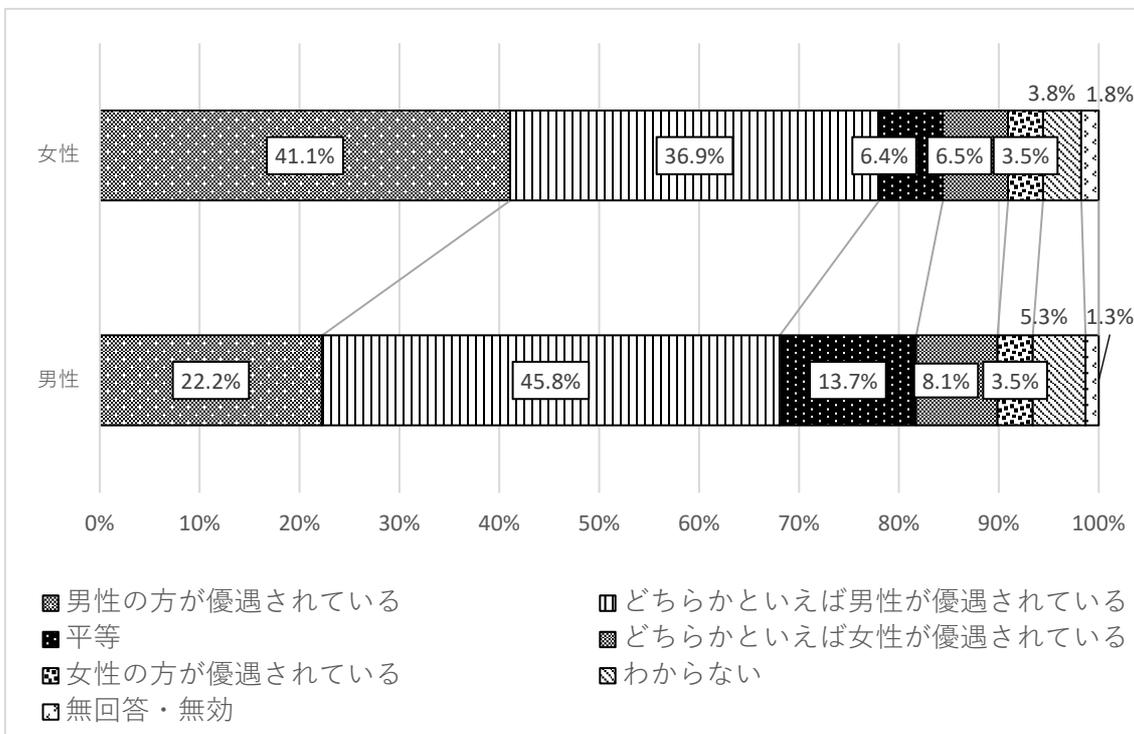
「家事」に関する男女の地位の平等感を性別にみると、「男性優遇感」は、女性で 78.0%、男性で 68.0%となっており、女性の方が 10.0 ポイント高い。

「平等感」は女性で 6.4%、男性で 13.7%となり、男性の方が 7.3 ポイント高い。

「女性優遇感」は、女性で 10.0%、男性で 11.6%となり、男女間でほとんど差はみられない。

前回調査も、男性よりも女性に「男性優遇感」が高く、女性よりも男性に「平等感」が高く、また、「女性優遇感」は男女差があまりみられない傾向となっており、変化はみられない。

図 5-3-1 【性別】「家事」の男女の地位の平等感  
(女性 n=628,男性 n=454)

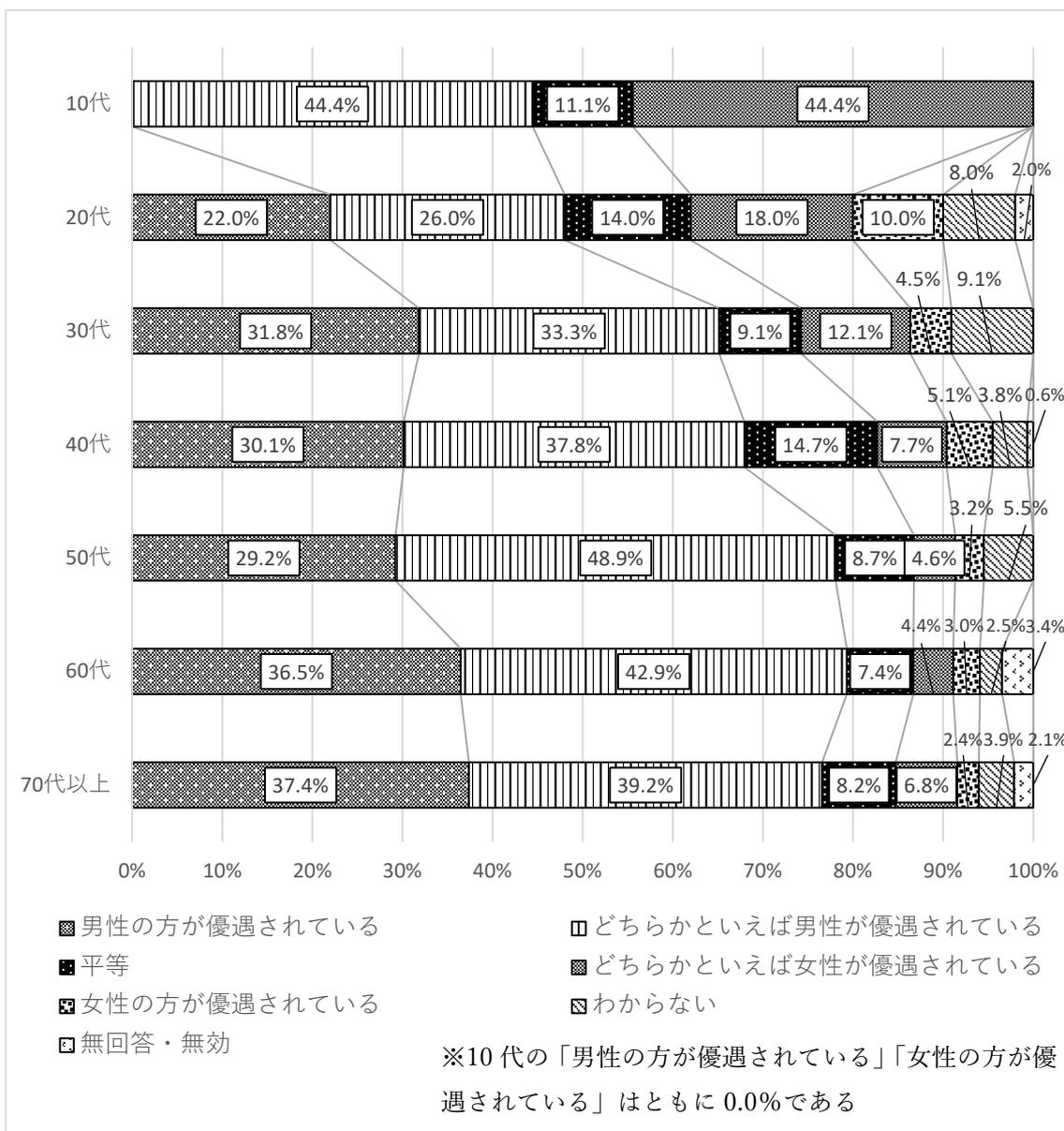


年齢別でみると、20 代以上の全ての年齢層で「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高い。特にその差が特に大きかったのは、「60 代」で、「女性優遇感」7.4%、「男性優遇感」79.4%となり 72.0 ポイント差が開いている。

一方で、「10 代」は「女性優遇感」と「男性優遇感」の割合は同数という結果となっている。

前回調査では、「16~24 歳」の「男性優遇感」が 44.5%と他の年齢層に比べて低かったが、今回調査においても同様に、若年層にその傾向がみられる。

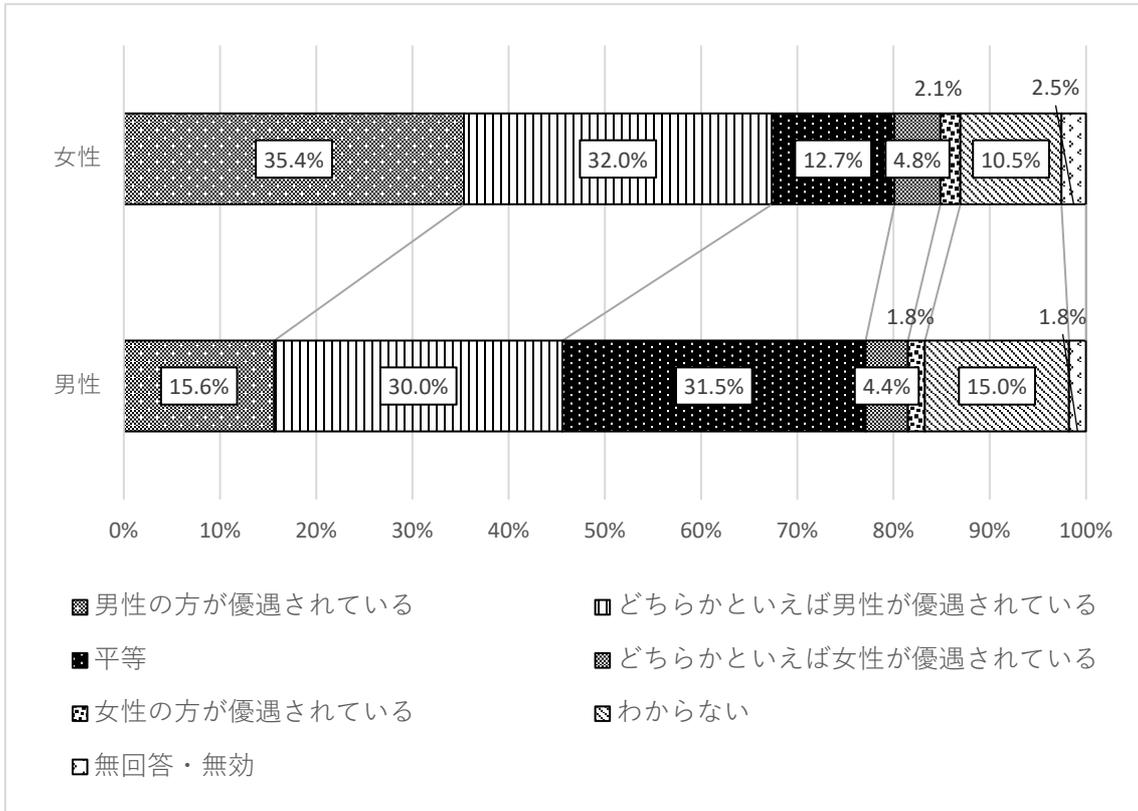
図 5-3-2 【年齢別】「家事」の男女の地位の平等感  
 (10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
 50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



介護

「介護」に関する男女の地位の平等感は、性別によってそのとらえ方に大きな違いがみられる。「男性優遇感」は、女性で 67.4%、男性で 45.6% となっており、女性の方が 21.8 ポイント高い。「平等感」は女性で 12.7%、男性で 31.5% となり、男性の方が 18.8 ポイント高い。「女性優遇感」は、女性で 6.9%、男性で 6.2% となり、男女間でほとんど差はみられない。この傾向は前回調査でも確認でき、「男性優遇感」及び「平等感」の男女差が大きいことも変化がない。

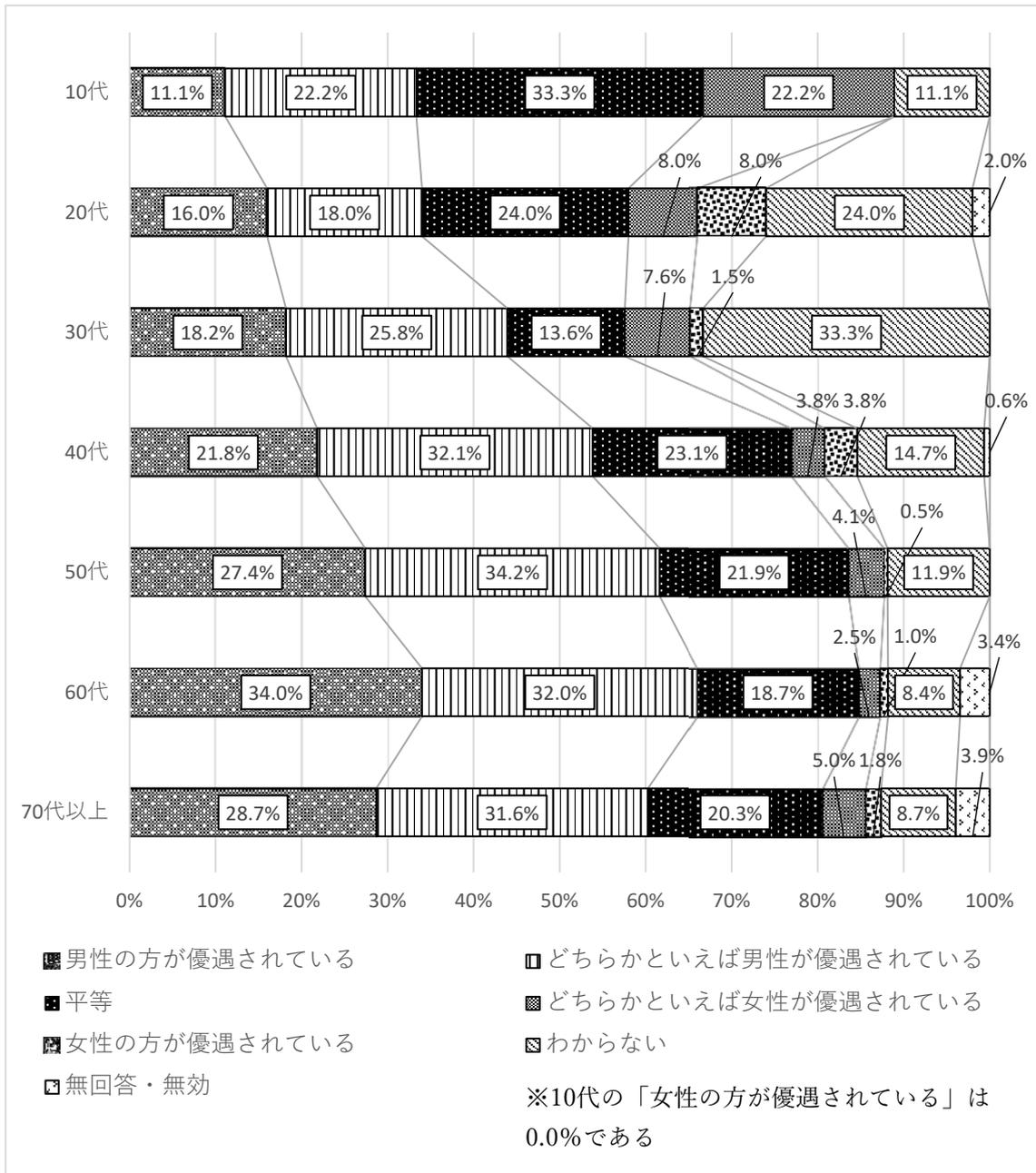
図 5-4-1 【性別】「介護」の男女の地位の平等感  
 (女性 n=628, 男性 n=454)



年齢別で見ると、全ての年齢層で「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高い。特にその差が大きかったのは、「60代」で、「女性優遇感」3.5%、「男性優遇感」66.0%となり62.5ポイント差が開いている。

また、若年層において「わからない」と回答した割合が高く、最も高かった「30代」では33.3%となっている。この傾向は前回調査でもみられている。

図 5-4-2 【年齢別】「介護」の男女の地位の平等感  
 (10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
 50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



**職場**

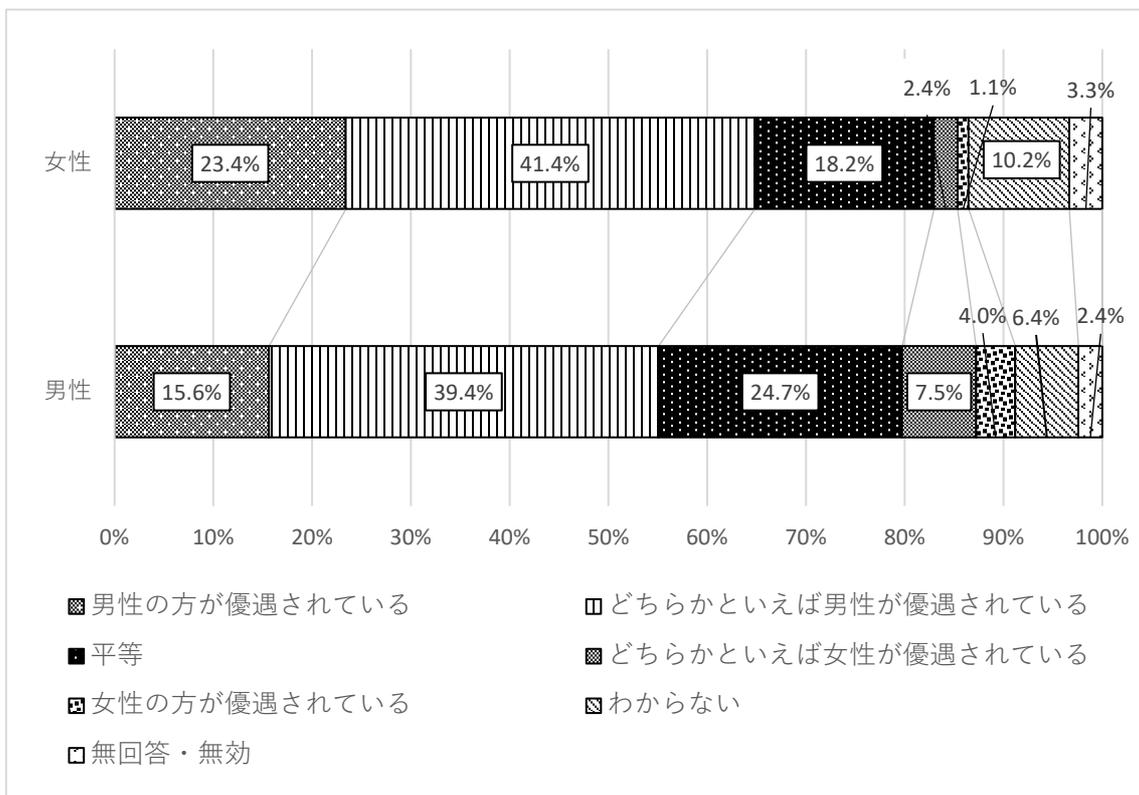
「職場」に関する男女の地位の平等感を性別にみると、「男性優遇感」は、女性で 64.8%、男性で 55.0%となっており、女性の方が 9.8 ポイント高い。

「平等感」は女性で 18.2%、男性で 24.7%となり、男性の方が 6.5 ポイント高い。

「女性優遇感」は、女性で 3.5%、男性で 11.5%となり、男性の方が 8.0 ポイント高い。

前回調査と比較すると、「男性優遇感」は女性の方が、「平等感」は男性の方が高いという傾向には変化がない。「女性優遇感」は前回調査では男女差はみられなかったが、今回調査においては男性の方が高くなっている。

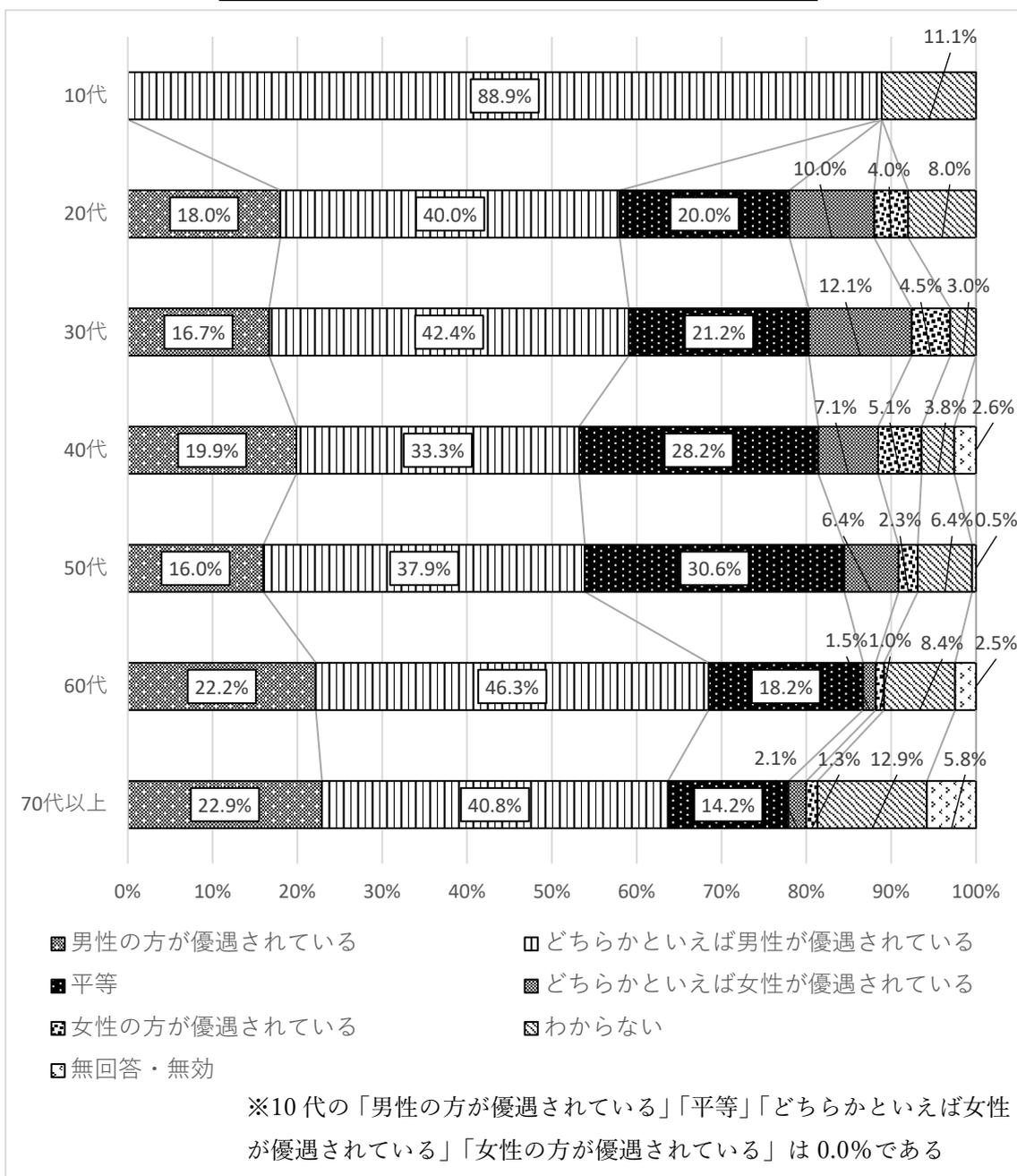
図 5-5-1 【性別】「職場」の男女の地位の平等感  
(女性 n=628,男性 n=454)



年齢別でみると、全ての年齢層で「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高く、半数を超える結果となっている。特にその差が大きかったのは、「10代」で、「女性優遇感」0.0%、「男性優遇感」88.9%となり88.9ポイント差が開いている。

前回調査では「16~24歳」の「男性優遇感」が44.4%と最も低く、今回調査と対照的な結果となっている。

図 5-5-2 【年齢別】「職場」の男女の地位の平等感  
 (10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
 50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



### 学校園での教育

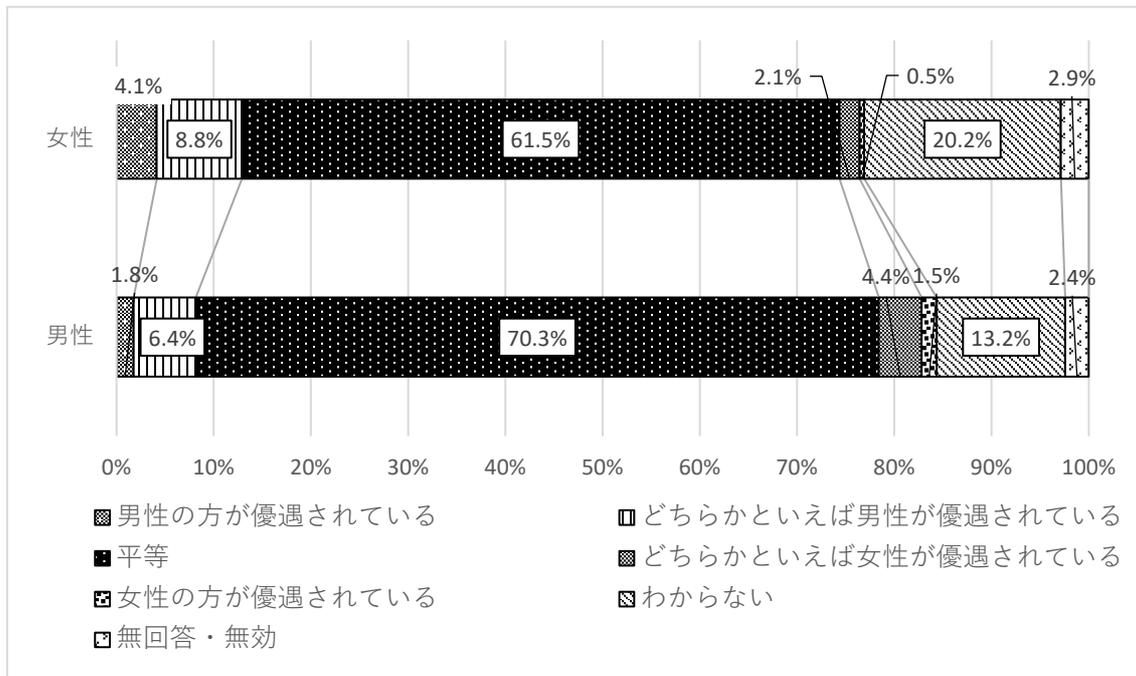
「学校園での教育」に関する男女の地位の平等感を性別にみると、「男性優遇感」は、女性で12.9%、男性で8.2%となっており、男女間で大きな差はみられない。

「平等感」は女性で61.5%、男性で70.3%となり、男性の方が8.8ポイント高い。

「女性優遇感」は、女性で2.6%、男性で5.9%となり、男女間で大きな差はみられない。

前回調査と比較をすると、「平等感」は男性の方が高く、「女性優遇感」は男女差がみられない点については一致している。「男性優遇感」は、前回調査では女性の方が高かったが、今回調査では男女間で大きな差はみられていない。

図 5-6-1 【性別】「学校園での教育」の男女の地位の平等感  
(女性 n=628, 男性 n=454)

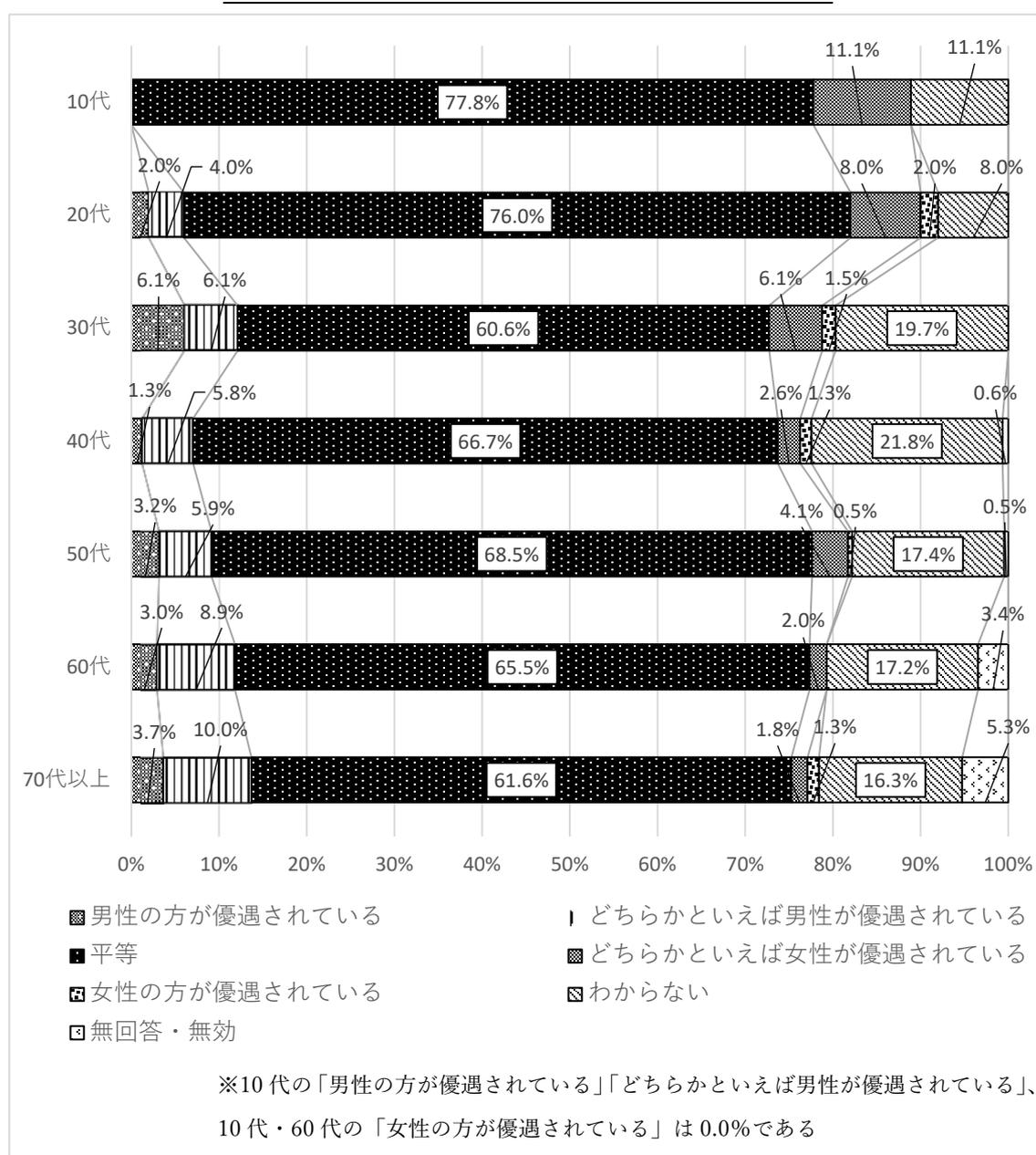


年齢別でみると、若年層において、より「平等感」が高く「10代」で77.8%、「20代」で76.0%となっている。また、「10代」「20代」は「男性優遇感」より「女性優遇感」の割合が高い。

30代以上の全ての年齢層で「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高いが、その差は他項目に比べ小さく、「70代以上」で10.6ポイントの差があった程度にとどまっている。

前回調査においても概ね年齢が高くなるにつれ「平等感」が低下しており、その傾向に変化はない。

図 5-6-2 【年齢別】「学校園での教育」の男女の地位の平等感  
(10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



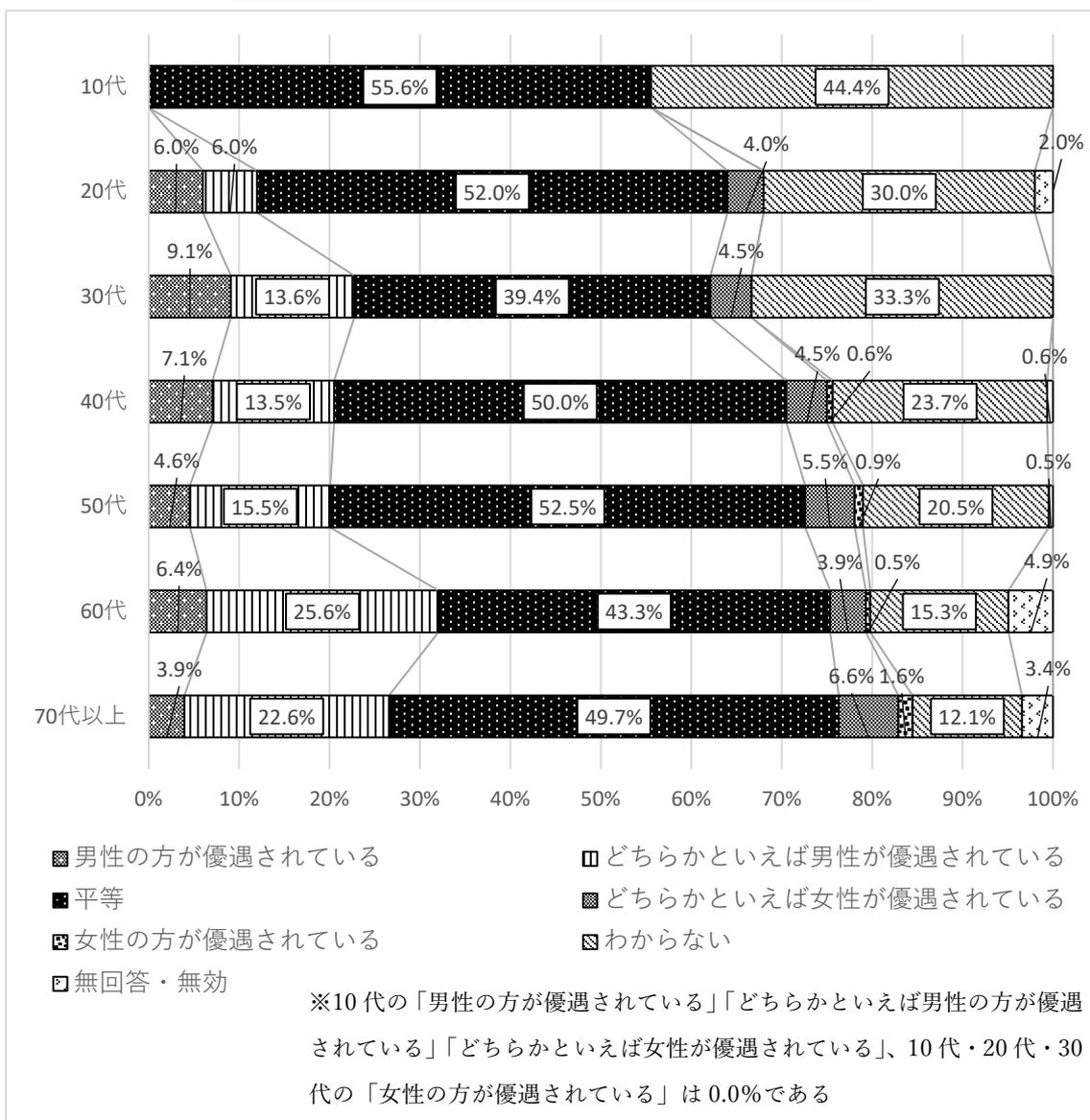
年齢別にみると、「平等感」は「30代」が最も低く、他年齢層では43.3%~55.6%であるのに対し、39.4%となっている。

20代以上の年齢層で「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高く、その差が最も大きかったのは「60代」で27.6ポイントとなっている。

「地域活動」は他項目に比べ「わからない」の割合が最も高いが、その中でも10代~30代にその傾向が強く表れ、最も高かった「10代」では44.4%が「わからない」と回答している。

前回調査と比較して、全ての年齢層において「平等感」は高くなっている。また、前回調査においても若年層の「わからない」の割合は高いが、その割合は今回調査の方が高くなっている。

図 5-7-2 【年齢別】「地域活動」の男女の地位の平等感  
 (10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
 50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



地域活動(自治会、ボランティアなど)

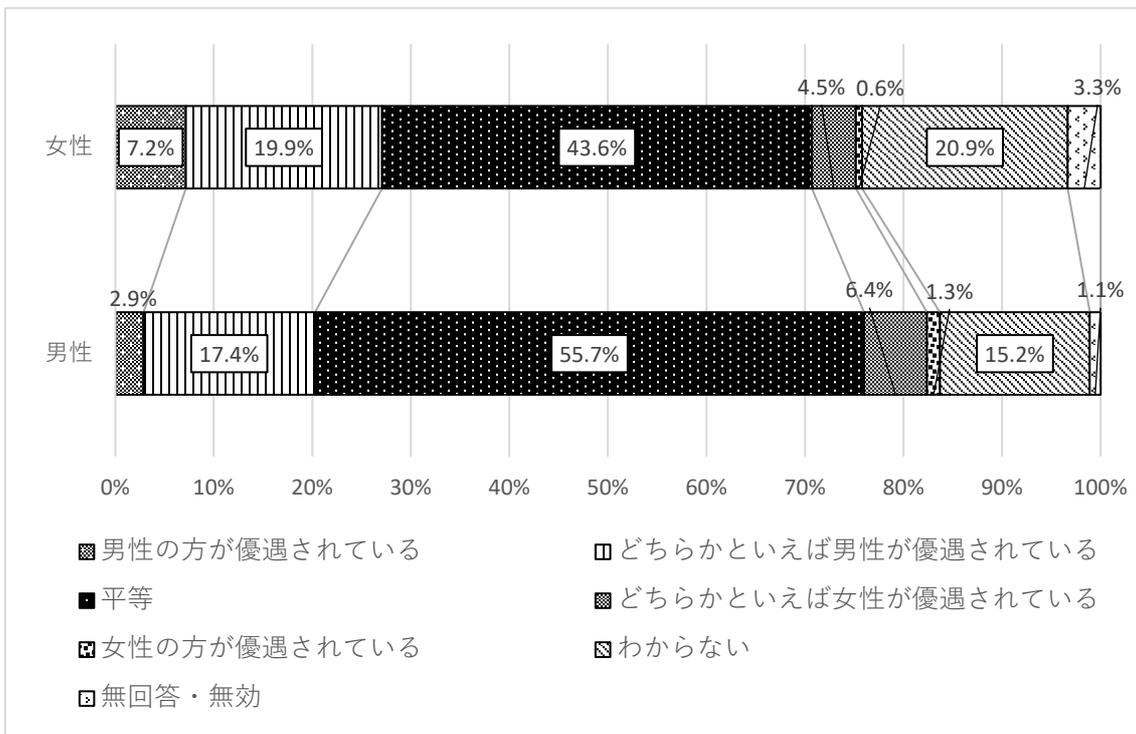
「地域活動」に関する男女の地位の平等感を性別にみると、「男性優遇感」は、女性で 27.1%、男性で 20.3%となっており、女性の方が 6.8 ポイント高い。

「平等感」は女性で 43.6%、男性で 55.7%となり、男性の方が 12.1 ポイント高い。

「女性優遇感」は、女性で 5.1%、男性で 7.7%となり、男女間で大きな差はみられない。

前回調査と比べると傾向は大きく変わっていないが、「男性優遇感」の男女差は縮小しており、前回調査では 20.7 ポイントであったのに対し、今回調査では 6.8 ポイントであった。

図 5-7-1 【性別】「地域活動」の男女の地位の平等感  
(女性 n=628,男性 n=454)



政治

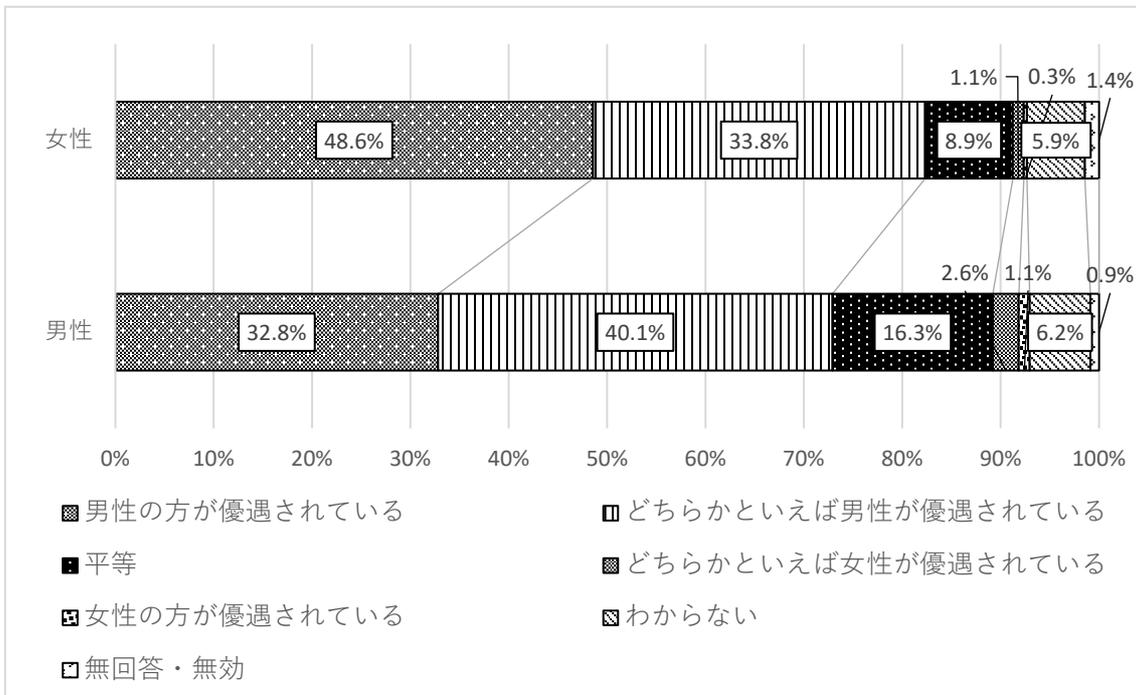
「政治」に関する男女の地位の平等感を性別にみると、「男性優遇感」は、女性で 82.4%、男性で 72.9%となっており、女性の方が 9.5 ポイント高い。

「平等感」は女性で 8.9%、男性で 16.3%となり、男性の方が 7.4 ポイント高い。

「女性優遇感」は、女性で 1.4%、男性で 3.7%となり、男女間で大きな差はみられない。

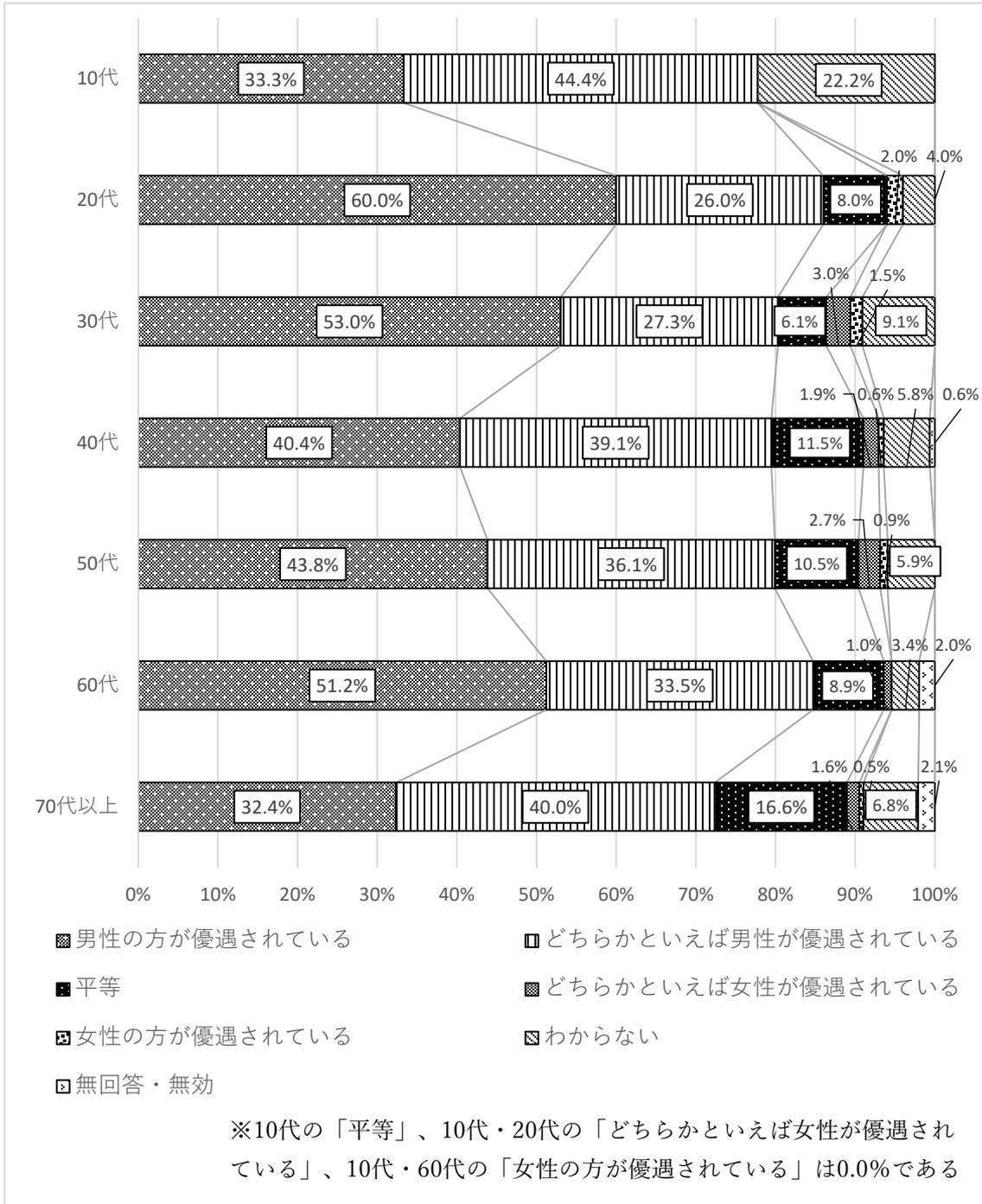
前回調査も同様の傾向である。

図 5-8-1 【性別】「政治」の男女の地位の平等感  
(女性 n=628,男性 n=454)



年齢別でみると、いずれの年齢層も「男性優遇感」は 70~80%台となっており、最も高い「20代」では 86.0%、最も低い「70代以上」では 72.4%となっている。前回調査においても「男性優遇感」は 70~80%台であり、その割合に大きな変化はみられない。

図 5-8-2 【年齢別】「政治」の男女の地位の平等感  
 (10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
 50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



### 社会通念・慣習・しきたり

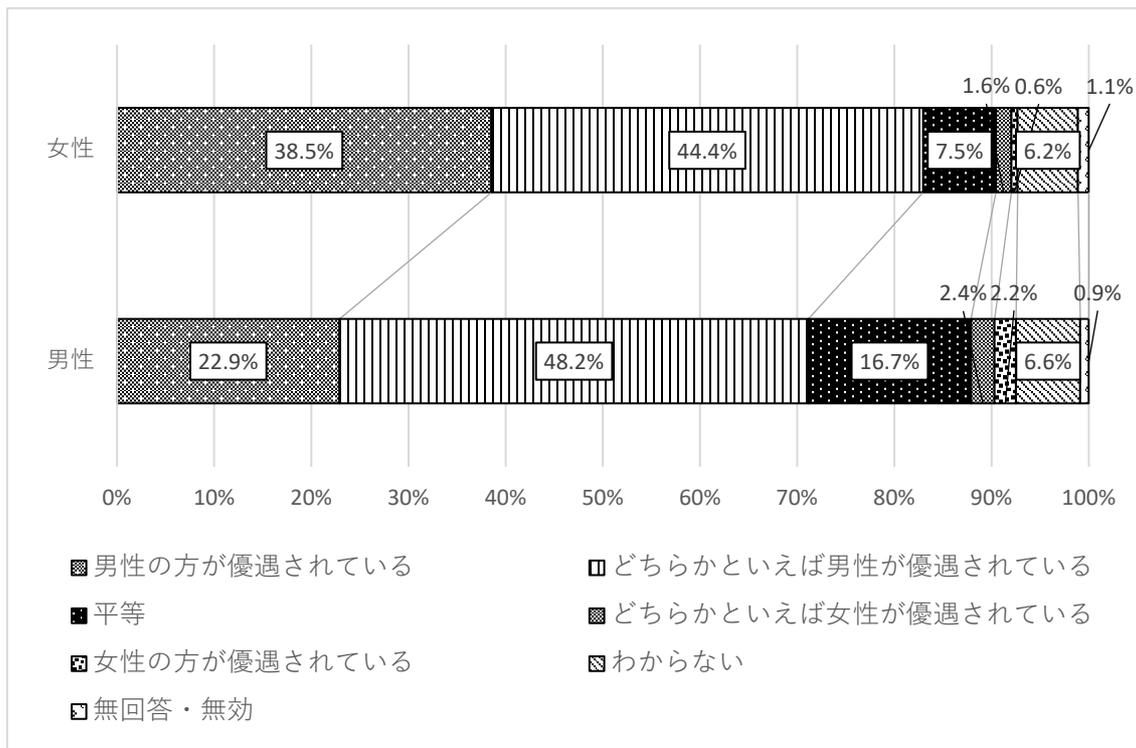
「社会通念・慣習・しきたり」に関する男女の地位の平等感を性別にみると、「男性優遇感」は、女性で82.9%、男性で71.1%となっており、女性の方が11.8ポイント高い。

「平等感」は女性で7.5%、男性で16.7%となり、男性の方が9.2ポイント高い。

「女性優遇感」は、女性で2.2%、男性で4.6%となり、男女間で大きな差はみられない。

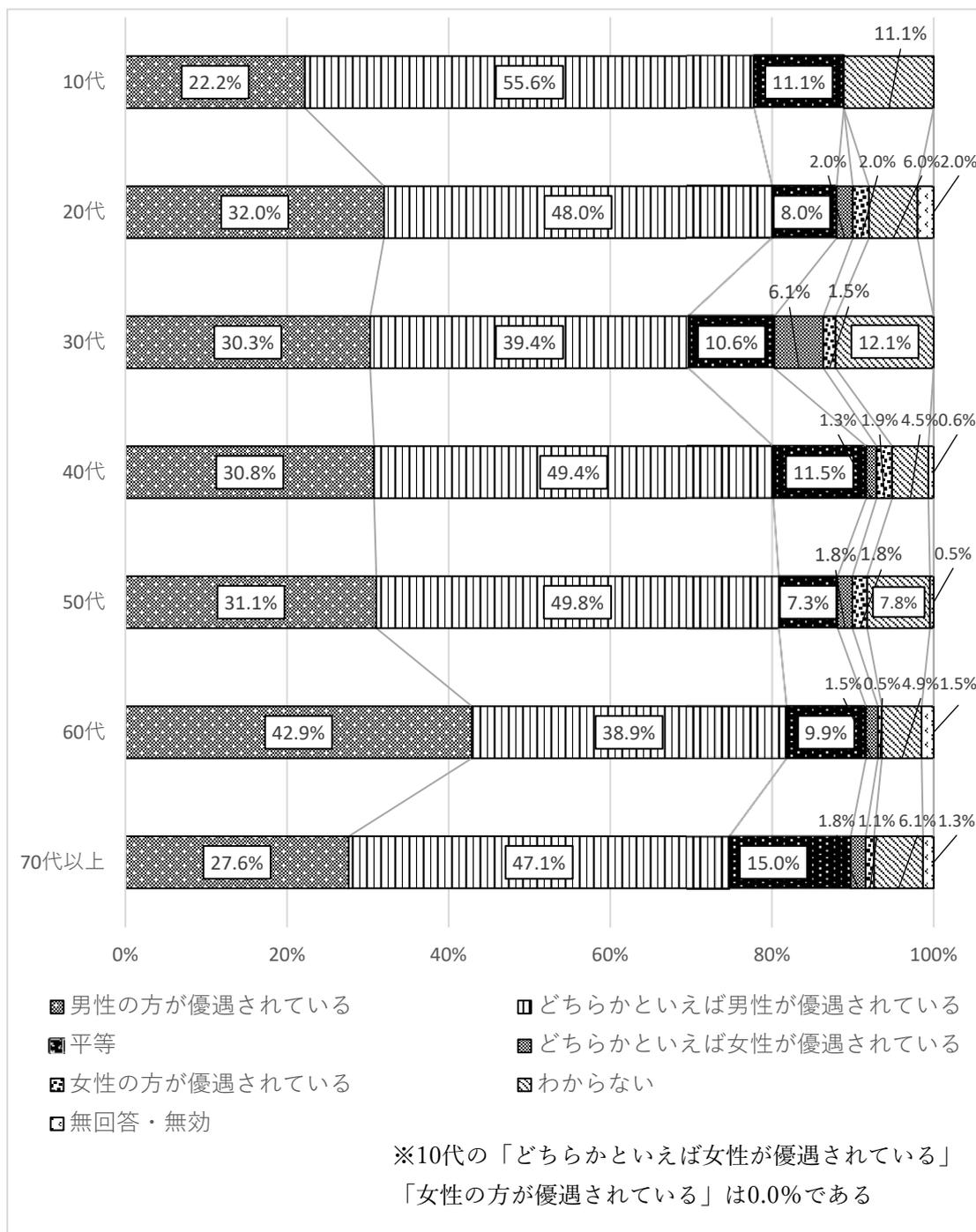
前回調査も同様の傾向である。

図 5-9-1 【性別】「社会通念・慣習・しきたり」の男女の地位の平等感(女性 n=628,男性 n=454)



年齢別でみると、いずれの年齢も「男性優遇感」は60~80%台となっており、最も高い「60代」では81.8%、最も低い「30代」では69.7%となっている。前回調査と比べて若年層の「男性優遇感」は高くなっている。

5-9-2 【年齢別】「社会通念・慣習・しきたり」の男女の地位の平等感  
 (10代 n=9, 20代 n=50, 30代 n=66, 40代 n=156,  
 50代 n=219, 60代 n=203, 70代以上 n=380)



(各項目の総評)

・性別によって「男性優遇感」の割合は大きく異なっている

全ての項目において、男性より女性の方が「男性優遇感」の割合が多い。特にその割合の差が大きかった項目は「介護」であり、「男性優遇感」は女性で 67.4%、男性で 45.6%となり、差は 21.8 ポイントとなっている。つまり、男性に比べ女性の方が「男性が優遇されている」と感じている。

・性別によって「平等感」の割合は大きく異なっている

全ての項目において、女性より男性の方が「平等感」の割合が多い。特にその割合の差が大きかった項目は「介護」であり、「平等感」は女性で 12.7%、男性で 31.5%となり、差は 18.8 ポイントとなっている。つまり、女性に比べ男性の方が「平等」であると感じている。

・性別によって「女性優遇感」の割合に大きな差はみられない

先述の「男性優遇感」や「平等感」と比べ「女性優遇感」は、性別による割合の差は大きくない。その中でも最も差が大きかった項目は「職場」であり、女性で 3.5%、男性で 11.5%となり、差は 8.0 ポイントとなっている。

以上により、「男性優遇感」の割合は男性より女性の方が、「平等感」の割合は女性より男性の方が高い結果となっている。すなわち、各項目の地位の平等感に対するとらえ方は性別によって違いが生じている。

「女性優遇感」は性別による割合の差が小さい項目が多かったが、「職場」においては一定の差がみられ、女性より男性の方が高い結果となっている。

・一部の項目では全ての年齢層で「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高い

「介護」「職場」「政治」「社会通念・慣習・しきたり」は全ての年齢層において、「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高い。しかし、「育児」「学校園での教育」は若年層において「男性優遇感」よりも「女性優遇感」の方が高い結果となっている。

具体的には、「育児」では 10 代、「学校園での教育」では 10 代、20 代が「男性優遇感」よりも「女性優遇感」の割合が高い。

「家事」「地域活動」は 10 代において「男性優遇感」と「女性優遇感」が同数であり、その他の年齢層では「女性優遇感」より「男性優遇感」の割合が高い。

・主に日常的な性別による役割分担意識において、年齢が上がるにつれ「男性優遇感」も高まる傾向にある

「育児」「家事」「介護」「地域活動」においては、年齢が上がるにつれ「男性優遇感」もおおよそ高まる傾向がみられる。